

第1章 グローバル ILL

第1章 グローバルILL

- 1節 グローバルILLの概要
- 2節 利用開始の手続き
- 3節 関連情報

CAT2020 運用開始以降は、
レコード ⇒ データ
ファイル ⇒ データセット
と読み替えてください。

GIFプロジェクト および
日米 ILL は、
2018年3月末をもって終了い
たしました。

1節 グローバルILLの概要

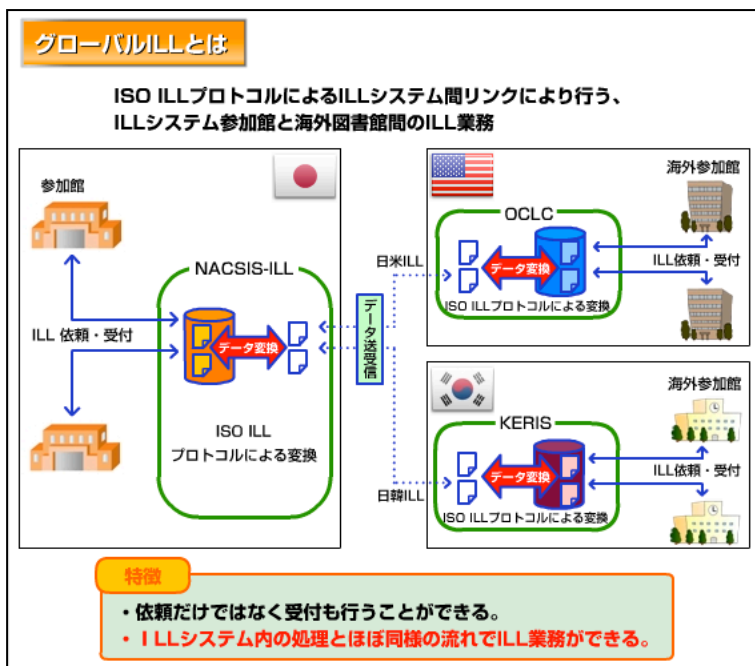
- 1項 グローバルILLとは
- 2項 グローバルILLの基本的流れ

【学習目標】

- 1. グローバルILLの概要を理解する。
- 2. グローバルILLの操作の流れを理解する。

第1章 グローバル ILL

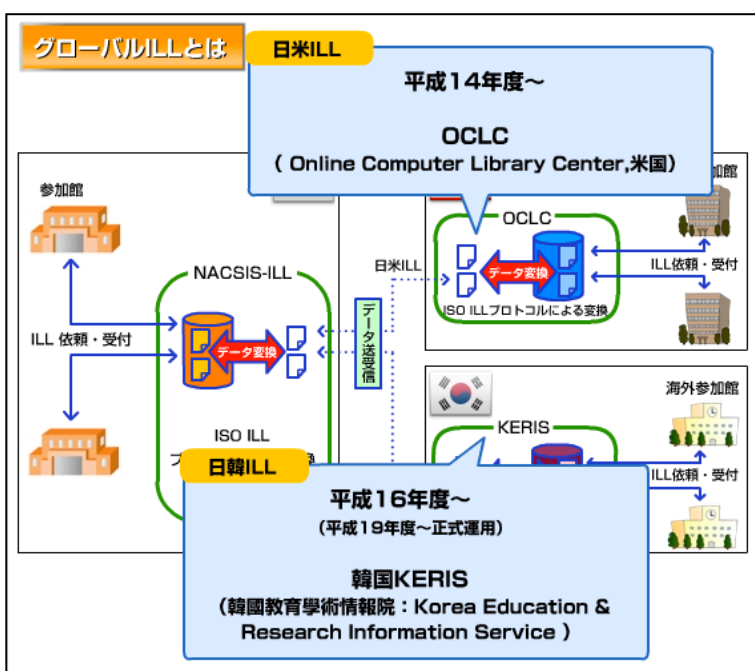
1 項 グローバル ILL とは



グローバル ILL について説明します。

グローバル ILL とは、ILL システム参加館と海外の書誌ユーティリティ参加館との ILL 業務のことをいいます。これは海外の書誌ユーティリティと ISO ILL プロトコルによる ILL システム間リンクを行うことにより可能となりました。

依頼だけではなく受付も行うことができ、ILL システム内とほぼ同じ流れで ILL 業務を行うことができることなどが、主な特徴です。



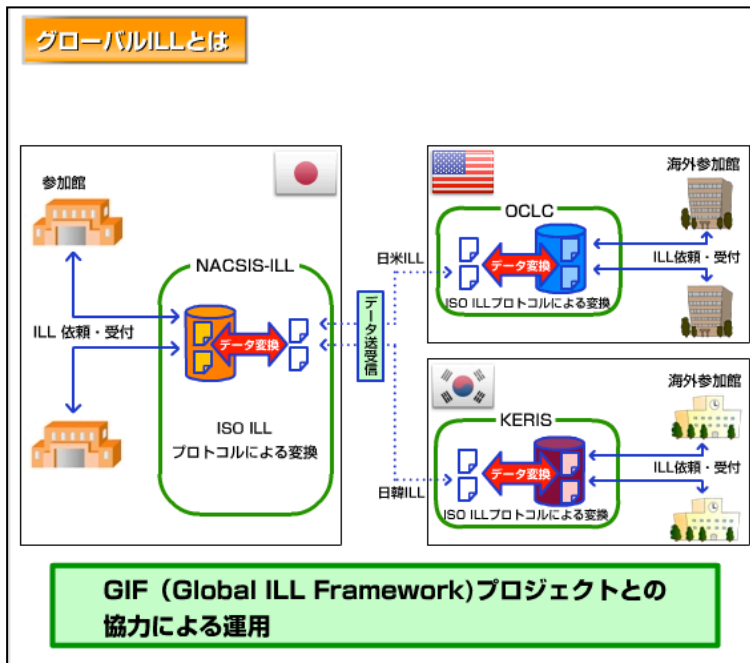
現在のグローバル ILL の協力先は、米国 OCLC (Online Computer Library Center), 韓国 KERIS (韓国教育學術情報院: Korea Education & Research Information Service) の2つです。

米国 OCLC 参加館とのグローバル ILL を「日米 ILL」、韓国 KERIS 参加館とのグローバル ILL を「日韓 ILL」と呼んでいます。

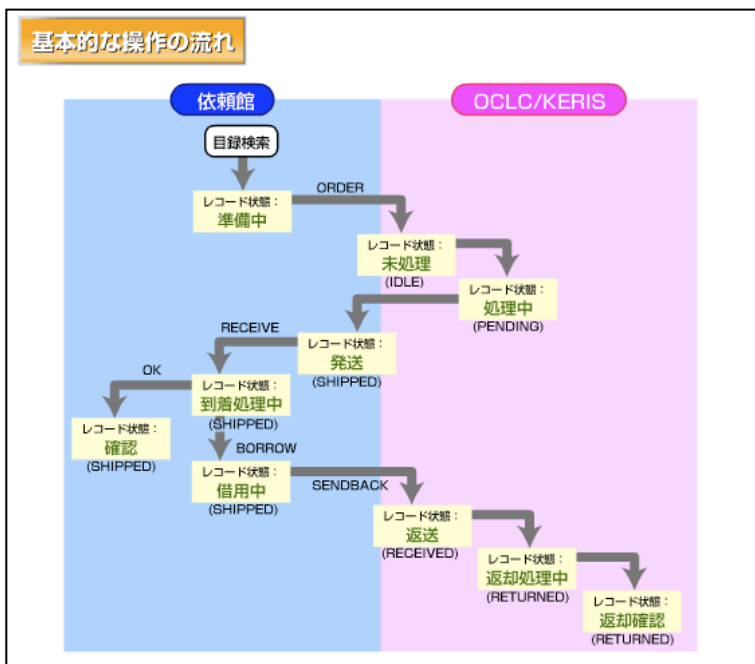
米国 OCLC との間では、平成 14 年度からグローバル ILL が行われています。

韓国 KERIS との間では、平成 16 年度にエージェント方式による暫定サービスを実施した後に、平成 19 年 4 月からシステム間リンクによる正式サービスを開始しています。

第1章 グローバル ILL



実際の運用では、3節で説明する GIF (Global ILL Framework) プロジェクトと協力し、ILL システム参加館の円滑な業務がサポートされています。



グローバル ILL の基本的な操作の流れを見てみましょう。

画面は、ILL システム参加館から依頼を行う場合の状態遷移図です。レコードの状態の流れや依頼館側でのコマンド操作は、ILL システム内での依頼業務と同じであることが分かります。

()で記入されているのは、ISO ILL プロトコルに基づいて表示された、ISO プロトコルレコード状態です。この他、OCLC や KERIS 参加館からの依頼を ILL システム参加館が受付をする場合も、通常の ILL システム内での操作とほぼ同様の流れになっています。

第1章 グローバル ILL

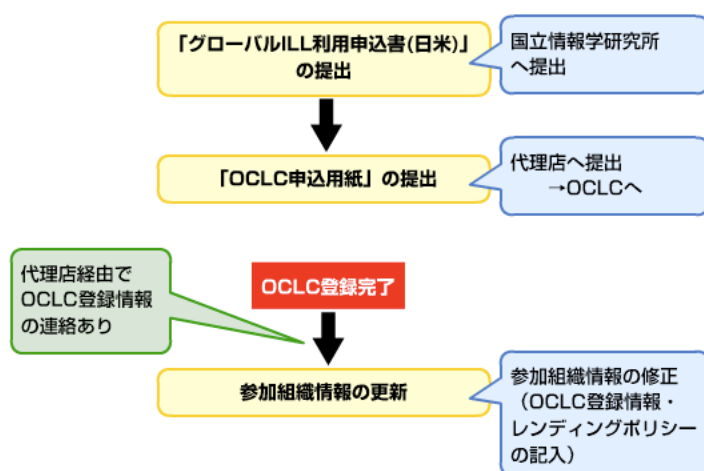
2節 利用開始の手続き

- 1項 利用までの手続きの流れ
- 2項 注意事項

【学習目標】

- 1. グローバルILL利用までの手続きの流れを理解する。
- 2. グローバルILL利用の際の注意事項について理解する。

利用までの手続きの流れ(日米ILL)



利用するための手続きについて説明します。日米 ILL・日韓 ILL とで異なります。

画面は、日米 ILL の利用までの手続きの流れを表したものです。

まず、国立情報学研究所に「グローバル ILL 利用申込書(日米)」を提出します。

次に、OCLC への参加申し込みを行います。所定の用紙に必要事項を記入し、代理店へ提出します。

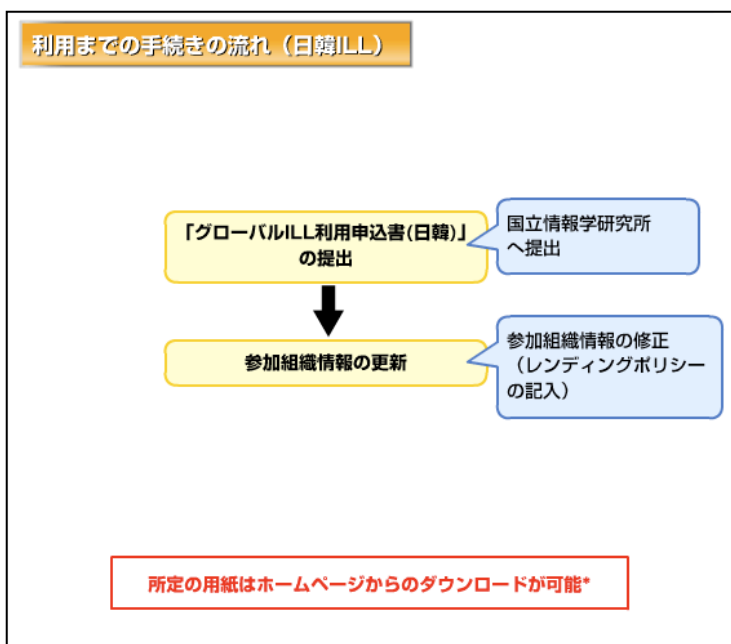
OCLC での参加登録が完了すると、OCLC シンボル、利用者 ID、パスワード等の登録情報が代理店経由で送られてきます。

最後に、参加組織情報の更新を行います。

OCLC 登録情報と、OCLC 参加館向けレンディングポリシーを記入します。

以上が、日米 ILL の利用までの手続きです。

第1章 グローバル ILL



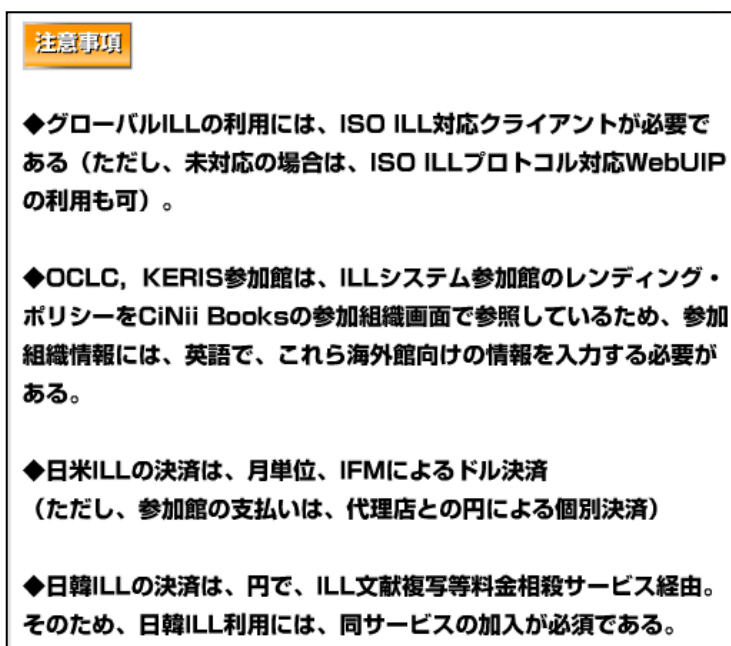
次に日韓 ILL の場合について説明します。

画面は、日韓 ILL の利用までの手続きの流れを表したものです。日米 ILL と同様、まずは、国立情報学研究所に「グローバル ILL 利用申込書(日韓)」を提出します。

次に、参加組織情報の更新を行います。KERIS 参加館向けレンディングポリシーを記入します。以上が、日韓 ILL の利用までの手続きです。

日米 ILL・日韓 ILL とともに、必要な用紙は、ホームページからのダウンロードが可能です。

2 項 注意事項



グローバル ILL を利用するにあたっての主な注意事項について説明します。

グローバル ILL の利用には、ISO ILL 対応クライアントが必要です。ただし、自館で用意できない場合には、ISO ILL プロトコル対応 WebUIP を利用することができますので、国立情報学研究所までご相談ください。

OCLC, KERIS 参加館は、ILL システム 参加館のレンディング・ポリシーを CiNii Books の参加 組織 画面で参照しています。このため 参加組織情報には、英語で、これら海 外館向けの情報を入力する必要がありま

す。日米 ILL の決済は、IFM を利用し、月 単位に、ドルで行われます。IFM とは、ILL Fee Management の略称です。ただし 参加館は、代理店との個別決済 により、円で支払いを行います。日 韓 ILL の決済は、円により、ILL 文 献複写等料金相殺サービス経由で行 っています。そのため、同サ ービスの 加入が必須となっています。

第1章 グローバル ILL

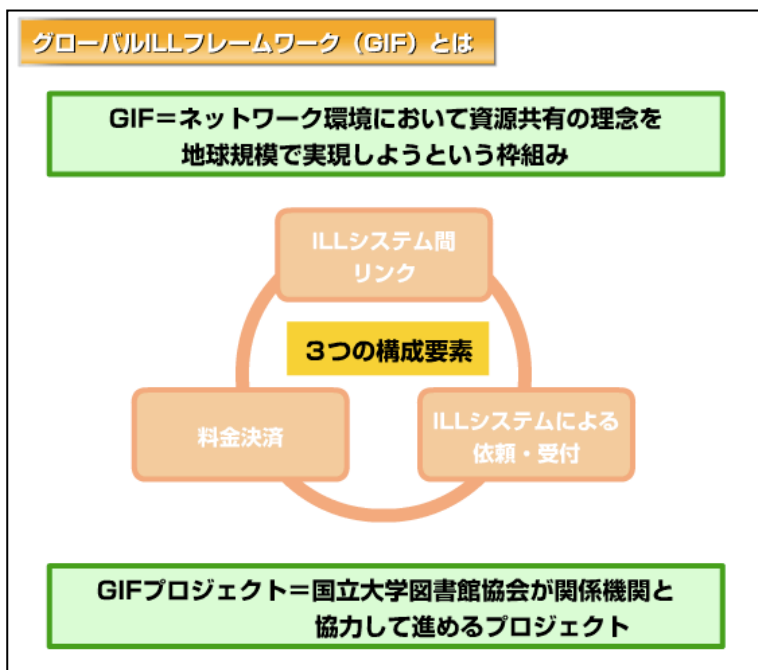
3節 関連情報

- 1項 グローバルILLフレームワーク (GIF)
- 2項 運用情報

【学習目標】

- 1. グローバルILLフレームワーク (GIF) の概要を理解する。

1項 グローバル ILL フレームワーク (GIF)



グローバル ILL フレームワーク

(GIF) との関係を見てみましょう。GIF とは、「ネットワーク環境において資源共有の理念を地球規模で実現しようという枠組み」をいいます。

GIF は、ISO ILL プロトコルによる ILL システム間リンク、ILL システムによる依頼・受付、そして料金決済の 3つの構成要素から成り立っています。

研究者・学生のグローバル化するニーズに対応するためにも、国内外の大学図書館と相互に協力し、図書館としての役割を果たしていく必要があります。

実際には、ILL システムにおけるグローバル ILL の円滑な運用を支援するために、GIF プロジェクトとして国立大学図書館協会が中心となって関係機関との調整を行っています。

第1章 グローバル ILL

運用に関する情報

JANULホーム GIFについて GIFメンバー コンタクト Q & A English

GIF
Global ILL Framework

GIF (Global ILL Framework) プロジェクトは、国立大学図書館協会(国際学術コミュニケーション委員会)が国立情報学研究所、国公私立大学図書館協力委員会、北米日本研究資料調整協議会及び韓国教育学術情報院(KERIS)等と協力して進めているプロジェクトです。

関連サイト	GIFニュース	活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ■ NACSIS-CAT/ILL グローバルILL ■ 北米日本研究資料調整協議会 NCCニュースレター ■ 紀伊国屋書店OCLCセンター 登録料金表・料金決済(請求書) ■ IFLA International Lending and Document Delivery: Principles and Guidelines for Procedure ■ ALA Interlibrary Loan Packaging and Wrapping Guidelines ■ 米国研究図書館協会 (ARL) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規参加情報(韓国): SBS (2008.7.18) new! ● 新規参加情報(韓国): Korean Women's Development Institute (2008.6.20) new! ● 新規参加情報(北米): University of British Columbia Library (2008.6.24) new! ● 新規参加情報(韓国): Korea National Defense University Library (2008.6.12) new! ● 新規参加情報(韓国): Chonnam National University Medical Library (2008.5.19) ● 2006,2007年度利用統計を掲載しました。(2008.5.13) ● 新規参加情報(北米): University at Albany, State University of New York (2008.5.13) ● back issues 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 議会議報告 ■ 事業計画・報告 <p>運用状況～統計～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日米ILL/DD 参加状況(日本・北米) 日米ILL利用統計 ■ 日韓ILL/DD 参加状況(日本・韓国) 日韓ILL利用統計 <p>関連資料/マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ レンディング・ポリシー記載方法 ■ GIF関連通知文書 ■ 日米ILL/DDマニュアル・関連資料 ■ 日韓ILL/DDマニュアル・関連資料

ARL Headquarter

グローバルILLフレームワーク (GIF)のページ*

GIF のホームページです。

グローバル ILL の運用に関する様々な情報が掲載されています。

最新の日米 ILL/DD、日韓 ILL/DD の参加状況と、各参加館のレンディング・ポリシーを確認することができます。

また、自館のレンディング・ポリシーを記入する際の具体的な方法についても、参照することができます。

おわりに



海外に申し込むことは、はじめ難しいことのように思えるかも知れませんが、グローバル ILL を利用すれば、海外の図書館と相互に ILL の依頼・受付を行うことができます。

学内の蔵書から、ILL システム参加館どうしの相互貸借へ、そして海外の資料まで提供することで、図書館のサービスは大きく向上します。